



滋賀県青少年赤十字指導者協議会
日本赤十字社滋賀県支部

JRCしが

j u n i o r r e d c r o s s

滋賀県青少年赤十字加盟校(園)(令和2年度)

校 種	加盟校(園)数
保育園・幼稚園	10
小 学 校	150
中 学 校	42
義務教育学校	2
高等学校	15
特別支援	1
計	220

健康・安全 奉仕 国際理解・親善

CONTENTS

■加盟校応援プロジェクト活動紹介

■滋賀県青少年赤十字研究推進委嘱校の取り組み

■新型コロナウイルス対策コンテスト

■加盟校応援プロジェクト募集

■私の学校のJRC

■事業計画、編集後記

自分の身を守り、みんなで考える防災教育

・日野町立桜谷小学校

本校は、豊かな自然に囲まれた地域に位置する学校です。そのため、大雨や地震などの自然災害が起きた際に甚大な被害が出ると予想されています。そこで、数年前より地域の防災士さんと連携して、避難訓練とセットで「防災教育」を実施しています。今回は、その中でも特徴的な二つの取り組みを紹介します。

安全・迅速に児童を守る 引き渡し訓練

11月に、地震等の災害時に備え、子どもたちの安全確保と保護者への確実な引き渡しを目標に、避難訓練とセットで実施しました。避難訓練後、保護者へ緊急連絡メールをし、学校まで迎えに来ていただくというものです。運動場へ保護者の車を誘導、車内で引き渡し書を書いてお待ちいただき、職員が児童を車まで連れていくという行動を徹底することで、短時間で効率の良い引き渡しができました。その後、校内研修で成果と課題を洗い出し、ここでの意見等は、次年度へ活かしていきます。



非常時にどう行動するかを考える 防災教育

1月には、地震を想定した避難訓練とセットで防災学習を実施しました。事前に上級生が全学年の教室へ赴き、災害に備える手立てを伝えました。数日後、予告なしで休憩時間中の訓練を実施し、その後、防災士さん協力のもと、低学年はゴミ袋で作れる防寒用ポンチョ作り、高学年は地域の危険箇所や避難場所などを白地図にまとめる防災マップ作りを行いました。なお、このマップは、防災学習終了後も調査活動を継続して、バージョンアップさせ、3月にはこのマップをもとに、区長さんとの意見交流会も予定しています。今後も防災意識を高め、地域とともに学ぶ「防災教育」を継続していきたいと思っています。



皆さんの活動をサポートします!



青少年赤十字メンバー・加盟校応援プロジェクト

日本赤十字社滋賀県支部では、青少年赤十字加盟校の自主的かつ意欲的な教育の実践活動の支援を目的に、本事業を行っています。

例えばこんな活動に…

●あそぼう大好き ぼくらのびわ湖

びわ湖のゴミ拾いや稚魚放流体験を通して、生き物を思いやる気持ちを育む。

●全校なべ大会

野菜栽培を通じて栄養などを学習し、学校・地域でお世話になっている方を招待し、おもてなし。

●部活動での地域ボランティア活動

通学に使用する道の清掃活動を部活動単位で行う。

など…



全校なべ大会



身近な自然や人とふれあう活動

交付対象経費は消耗品やお礼の図書カードなど幅広く対応。
上限5万円を助成します。

詳しくは、日本赤十字社滋賀県支部のホームページをご確認ください。【URL】<https://www.jrc.or.jp/chapter/shiga/>

研究
主題

豊かな道徳性を育む授業の創造

～伝え合い・認め合い・共に高め合う

子どもの姿を目指して～

令和元・2年度滋賀県青少年赤十字研究推進委嘱校
東近江市立市原小学校

本校は、布引丘陵と永源寺から流れる愛知川のほとりに位置する田園地帯にあり、美しい自然と人々のつながりを大切にする地域に見守られた150年の歴史がある学校です。

また、歴年JRCに加盟し、人のため、郷土社会のために貢献できる人育てを目指し、人権教育、福祉教育、環境教育等を大事にしてきました。

令和元年・2年度に滋賀県青少年赤十字研究推進委嘱校の指定を受け、特別の教科道徳を窓口、研究テーマに沿って授業づくりや児童の実践活動に取り組みました。

初年度は、価値項目や題材の選定、児童の素直な思いや考えを引き出す手立てや、アンケートの活用、ICT機器の効果的な利用等道徳の授業研究会を重ねました。また、これまで児童活動の柱としてきた全校たてわり活動や委員会活動、奉仕活動に主体的に取り組み、実践的な態度の育成に努めました。

2年次の研究は、更に授業改善を進めながら成果と課題を見極め、深めました。

しかし、コロナ禍は本研究にも深く影響し、児童が伝統的に取り組み、主体性を発揮してきた児童会活動や、福祉活動等体験を伴う活動や行事が計画通りに実施できず、困難を伴いました。

マスク着用を励行し、三密を避ける行動様式の中でも、子どもたちは学校生活を楽しく登校しました。そして、新たな学校生活を生み出すため、コロナ感染症対策を踏まえた児童会活動を思考し、友だちと協力し合い、学校生活に潤いを作り出しました。「新1年生をもっと知りたいたい。」というのが動機です。

「気づき、考え、実行する」というJRCの態度目標を具現化しており、この2年間の取組の一つの大きな成果であったのではないかと感じています。

11月には、新型コロナウイルス感

染症防止対策のため、授業公開ができず、「活動紹介」の形で発表を行いました。県内各地から多数ご参加いただき、深く感謝いたします。授業や活動の様子は写真と動画でお伝えし、全教職員による発表形式で紹介しました。

最後に、学び得た多くのことは、

未来を生きぬく心豊かでたくましい市原っ子の育成に役立てます。また、小規模校のよさを生かし、地域の人々とのつながりを大切にし、児童が校内外に、それぞれが持てる力を発信・発揮できるよう願い、全力で教育実践に取り組んで参ります。





2012年度からの 東北ボランティア活動で学んだことを 地域社会へ還元する活動

滋賀県立八日市南高校地域支援活動同好会

東北でがれき撤去の活動



復興支援二畳風

本校の地域支援活動同好会は、2012年度から東北（岩手県・宮城県）で、2016年度からは福島県でもボランティア活動を行ってきました。

この活動の中で、被災された方から聞いた「忘れられるのが一番怖い」「来てくれるだけでありがたい」という言葉や、NPOの方に話していただいた「お金やモノだけではなく、優しさや、思いやりや、笑顔を届けることで、人は明日へ踏み出す勇気もてる」といった言葉が心に響きました。また、被災地の高校との交流から「故郷の復興に対する熱い思い」を知ると同時に、「あの子たちがいるからこの地域は復興する」といった、被災地の方々の地域の若者たちに対する期待の高さも感じました。

私たちはこの東北ボランティア活動から、「命の大切さ」や「人と人の繋がりの大切さ」や「人と地域の繋がりの大切さ」を学びました。そして、私たちはこの学びを地域社会へ還元するため以下のような活動をしています。

また、一昨年度の東北ボランティア活動で岩手県大槌の吉祥寺の高橋住職さんに教えていただいた「宝物とは、他の人を大切に思う心を持ち、他の人から大切に思われる生き方をすること」というお話を聞き、私たちの活動はこの「宝物」を探し出すことだと感じています。



災害義援金の募金活動

- ボランティア畑での野菜栽培（子ども食堂への支援）
- 復興支援二畳風の制作・風揚げ
- 止揚学園（重度知的障害者施設）での畑作業
- 「いいたて雪つ娘カボチャ」栽培・お菓子の販売
- 募金活動（被災地支援、海外支援（ユニセフ・日赤））
- 防災学習活動（防災リーダー養成講座・防災士受験）
- 防災啓発活動：防災レンジャー活動（子ども食堂・幼稚園）
- 地域の障害者施設でのボランティア活動
- 琵琶湖復活大作戦への参加
- 活動の報告会
（命の大切さを学ぶ教室、ボランティア・アワード等での報告）

新型コロナウイルス対策コンテストを実施します！

新型コロナウイルス感染症の流行により、皆さんの日常生活が大きく変化しました。各学校でも、さまざまな感染予防対策を行いながら学校活動を実施されていることと思われます。そこで、新型コロナウイルス対策のアイデアを募集するコンテストを開催いたします。「全校集会を開かず、校内放送で対応した」、「給食の食べ方を工夫した」、「休み時間の過ごし方を変更した」など実施されたことについて、ぜひご応募ください！

●募集期間 令和3年5月17日(月)～8月31日(火) 必着

●賞・賞品 ■最優秀賞(1校): 記念盾+副賞(5万円の図書カードNEXT)
■優秀賞(3校): 記念盾+副賞(3万円の図書カードNEXT)

●応募方法 専用応募用紙を日本赤十字社滋賀県支部へメールで提出

※応募作品は、後日冊子にして県内青少年赤十字加盟校へ配付を予定しています。

詳しくは、日本赤十字社滋賀県支部のホームページをご確認ください。

お問い合わせ 日本赤十字社滋賀県支部
TEL: 077-522-6758
URL: <https://www.jrc.or.jp/chapter/shiga/>



編集後記

JRCしが第27号をお届けします。令和2年度は、リーダーシップ・トレーニングセンターや高校生連絡協議会など新型コロナウイルスの影響により多くの事業が中止となりました。各学校での活動においても多大な影響が生じたことと思われます。

このような状況下で発生した「令和2年7月豪雨災害」ですが、多くの学校で義援金の募金活動にご協力いただきました。協力いただいた学校からは、「新型コロナウイルスの感染が広がる中で被災した地域の窮状をニュースで知り、自分たちにできることはないかと考え募金活動を行った」との言葉をいただきました。

皆さまのご協力に感謝申し上げますとともに、この行動こそが、青少年赤十字の態度目標である「気づき・考え・実行する」であり、加盟校のメンバーに赤十字の理念が浸透していることを感じる事ができました。

さて、滋賀県守山市で全国初として発祥した青少年赤十字ですが、2022年には100周年を迎えます。長い歴史の間、本活動では、赤十字の理解を通じて、青少年の思いやりや優しさを大切にする心を育むことを目的に活動を続けてきました。この心は、時代を問わず、誰でも持つべき心であり、これからもこの目的は受け継がれていくことと思います。



令和3年度青少年赤十字主要事業計画(案)

月	日	行 事	実 施 場 所	期 間	参 加 者
4	9	全国支部青少年赤十字担当者会議	Web	1	支部事務局担当者
	下旬	指導部役員会	日赤滋賀県支部会議室	1	会長・副会長・顧問・県指導員
5	22 23	リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会	日赤本社	2	青少年赤十字指導者
	17	新型コロナウイルス対策コンテスト			県内加盟校
6	3	第1回滋賀県青少年赤十字高校生連絡協議会及び活動発表会	八幡高等学校	1	高校生メンバー
	中旬	青少年赤十字指導者研修会	守山小学校	1	県内指導者
	18	郡市支部長会 青少年赤十字指導者協議会 第73回定期総会並びに研修会	甲賀市まちづくり活動センター「まる一む」	1	会長・副会長・顧問・郡市支部長・指導部長 県内加盟校指導者
	26	近畿ブロック指導者研修会	奈良市周辺	1	青少年赤十字指導者
	29	全国指導者協議会総会・研修会	日赤本社	1	会長
7	中旬	トレーニングセンター打ち合わせ会	日赤滋賀県支部会議室	1	県指導員
7・8		郡市主催トレーニングセンター	各市支部	1	各支部メンバー
8	6	リーダーシップ・トレーニングセンター	守山小学校	1	小・中・高メンバー
		郡市主催総会・運動会	各会場	1	各郡市メンバー
9	30	指導主事対象青少年赤十字研究会	日赤本社	1	指導主事
10	28	第2回滋賀県青少年赤十字高校生連絡協議会及び活動発表会	県内青少年赤十字高等学校加盟校又は日赤滋賀県支部会議室	1	高校生メンバー
11	19	青少年赤十字研究推進委嘱校発表大会	甲賀市立甲南第三小学校	1	県内指導者
12	下旬	指導部役員会	日赤滋賀県支部会議室	1	会長・副会長・顧問・県指導員
3	上旬	郡市支部長会	日赤滋賀県支部会議室	1	会長・副会長・顧問・郡市支部長・指導部長
	下旬	青少年赤十字スタディー・センター	山梨県・東照館	5	高校生メンバー

通年事業：青少年赤十字メンバー・加盟校応援プロジェクト事業を実施